

調査項目の見直し検討(案)  
(令和3年12月時点)

調査票名	見直し検討事項(政策部局からの要望含む)			適用区分	備考
	項目	内容	理由・背景		
海面漁業調査 漁業経営体調査票  内水面漁業調査 内水面漁業経営体調査票  流通加工調査 魚市場調査票 冷凍・冷蔵、水産加工場調査票	国際的な水産 エコラベル認証 の取得状況	・MSC認証(英国、漁業) ・ASC認証(オランダ、養殖) ・MEL(日本、漁業・養殖) ・BAP(アメリカ、養殖) ・Alaska RFM(アラスカ、漁業) ・GLOBALG.A.P.(ドイツ、養殖) のいずれかを取得しているか	次期水産基本計画において、持続可能な水産業の取組の一つとして、これまで以上に水産エコラベルの活用を推進することとする見込みである。 各水産エコラベル認証スキーム(MSC、ASC、MEL)では認証取得者(認証取得申請を行った代表者名)はそれぞれのwebサイトで公表しているものの、認証への参画者の詳細などの情報は各認証機関から入手できない。 また、漁協、漁連から情報収集ができた場合においても、認証件数に占める漁連、漁協の割合は2割程度であり、漁協、漁連からの情報収集だけでは、普及率の指標としては不十分となる。 このため、漁業経営体の認証取得の状況(普及状況)の現状を把握するとともに、次々期(2027年)水産基本計画で漁業センサスの結果で出される水産エコラベルの普及状況(率)をKPIとすることを想定している。	調整中	
海面漁業調査 漁業経営体調査票	漁業種類	別紙1参照	統計調査間の整合を図るため海面漁業生産統計調査の漁業種類に合わせて修正。	縮小	
海面漁業調査 漁業経営体調査票  内水面漁業調査 内水面漁業経営体調査票	にじます養殖 その他のさけ・ ます養殖	過去1年間に行った漁業種類に ・にじます養殖 ・その他のさけ・ます養殖 を追加  過去1年間に養殖した養殖種類に ・海水魚種-にじます ・海水魚種-その他さけ・ます類 を追加  (別紙1、2参照)	養殖業成長産業化総合戦略(R2年7月策定)において、戦略的養殖品目として、「ブリ類」「マダイ」「クロマグロ」「新魚種(ハタ類等)」「ホタテ貝」「真珠」とともに「さけ・ます類」を戦略的養殖品目として指定し、2030年の生産数量目標(KPI)としてさけ・ます類3~4万トン掲げている。 KPIの達成状況を分析する過程において、少ない経営体数による大規模生産によるものか、小規模生産が多数積み上がった生産量なのか等を把握し、今後の施策検討に活用していきたい。 また、にじます(トラウト)については、世界のサーモン類養殖生産量(FAO,2018年)において、1位のアトランティックサーモン(2.4百万トン)に次いで、第2位(0.9百万トン)の魚種であり、世界的にも認知度の高い魚種である。日本における生産量は約350トン(都道府県庁経由の調査,2018年)ではあるものの、将来的に数千トン以上の生産を目指す企業も出てきていることから、経営体の動向を把握したい。	調整中	
海面漁業調査 漁業経営体調査票  内水面漁業調査 内水面漁業経営体調査票	漁業共済の加入 状況 漁業収入安定 対策事業 (積立ぶらす) の加入状況	漁業共済に加入しているか 漁業収入安定対策事業(積立 ぶらす)に加入しているか	漁業共済、漁業収入安定対策事業(積立ぶらす)に加入する担い手が漁業生産の大宗を担い、安定的に水産物を供給し得る漁業構造の達成を目標としているため、成果指標として生産金額ベースでそれぞれの加入率を推計し、毎年公表している。 しかし、漁業共済や漁業収入安定対策事業(積立ぶらす)については、経営体ごとの加入が条件となっておらず、集団契約や漁協一括契約により多くの経営体が含まれた契約や同一の経営体が複数の契約を結んでいる場合も多いことから、契約件数は分かるものの、経営体ごとの加入状況が明らかではない。 未加入の漁業経営体の傾向・特徴を把握することにより、効率的な事業運営の推進に資する情報として活用したい。	調整中	内水面においては、現在のところ加入件数も少なく、加入している内水面漁業経営体の経営状況等の推察が可能となる懸念があり、そのことを理由とした調査拒否等の調査環境の悪化を招く虞も想定されることから、本項目を内水面漁業経営体調査票に追加することは困難である。 よって、海面漁業調査漁業経営体調査票への適用とする。
海面漁業調査 海面漁業地域調査票	資源管理協 定の取組	資源管理・漁場改善の取組の 取組区分に「資源管理協定」を 追加	2020年12月に施行された新漁業法に基づき現行の資源管理計画(以下「計画」という。)を2023年度末までに資源管理協定(以下「協定」という。)に順次移行することとしている。 2023年漁業センサス実施時点では、計画と協定の両方が存在している状況が見込まれ、また複数の計画をまとめて1つの協定に移行することなども想定されている。このため、取組区分に「資源管理協定」を追加することにより、資源管理に係る取組の実態を正確に把握し、また、どの程度計画が協定に移行しているのか等の過渡期の実態を把握することが可能となると考えており、過去からの資源管理の取組実態の推移を踏まえつつ、新漁業法に基づく新たな資源管理の推進状況をモニタリングすることで、今後の施策展開に反映してまいりたい。	拡充	すべての資源管理計画が資源管理協定へ移行された後となる2028年漁業センサスにおいては、資源管理に関する項目の必要性や把握内容を改めて検討する。

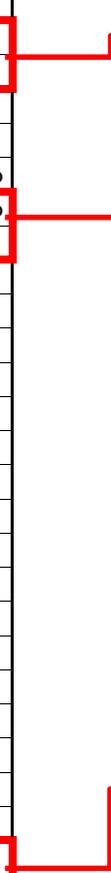
海面漁業調査漁業経営体調査の漁業種類の変更案について

2018年漁業センサス漁業種類

底 び き 網	遠洋底びき網	
	以西底びき網	
	沖合 底びき網	1 そうびき 2 そうびき
	小型底びき網	
船びき網		
ま ま き 網	大 中 型 ま ま き 網	1 そうまき遠洋かつお・まぐろ
		1 そうまき近海かつお・まぐろ
		1 そうまきその他
		2 そうまき
中・小型まき網		
刺 網	さけ・ます流し網	
	かじき等流し網	
	その他の刺網	
さんま棒受網		
大型定置網		
さけ定置網		
小型定置網		
その他の網漁業		
は え 網	遠洋まぐろはえ縄	
	近海まぐろはえ縄	
	沿岸まぐろはえ縄	
	その他のはえ縄	
	その他の網漁業	
釣	遠洋かつお一本釣	
	近海かつお一本釣	
	沿岸かつお一本釣	
	遠洋いか釣	
	近海いか釣	
	沿岸いか釣	
	ひき縄釣	
その他の釣		
小型捕鯨		
潜水器漁業		
採貝・採藻		
その他の漁業		
海 面 養 殖	魚 類 養 殖	ぎんざけ養殖
		ぶり類養殖
		まだい養殖
		ひらめ養殖
		とらふぐ養殖
		くろまぐろ養殖
		その他の魚類養殖
	ほたてがい養殖	
	かき類養殖	
	その他の貝類養殖	
	くるまえび養殖	
	ほや類養殖	
	その他の水産動物類養殖	
	こんぶ類養殖	
	わかめ類養殖	
のり類養殖		
その他の海藻類養殖		
真珠養殖		
真珠母貝養殖		

2023年漁業センサス漁業種類 (案)

底 び き 網	遠洋底びき網	
	以西底びき網	
	沖合底びき網	
	小型底びき網	
船びき網		
ま ま き 網	大 中 型 ま ま き 網	1 そうまき遠洋かつお・まぐろ
		1 そうまきその他
		2 そうまき
		中・小型まき網
刺 網	さけ・ます流し網	
	かじき等流し網	
	その他の刺網	
さんま棒受網		
大型定置網		
さけ定置網		
小型定置網		
その他の網漁業		
は え 縄	遠洋まぐろはえ縄	
	近海まぐろはえ縄	
	沿岸まぐろはえ縄	
	その他のはえ縄	
	その他の網漁業	
釣	遠洋かつお一本釣	
	近海かつお一本釣	
	沿岸かつお一本釣	
	沖合いか釣	
	沿岸いか釣	
	ひき縄釣	
	その他の釣	
小型捕鯨		
潜水器漁業		
採貝・採藻		
その他の漁業		
海 面 養 殖	魚 類 養 殖	ぎんざけ養殖
		にじます養殖
		その他のさけ・ます養殖
		ぶり類養殖
		まだい養殖
		ひらめ養殖
		とらふぐ養殖
	くろまぐろ養殖	
	その他の魚類養殖	
	ほたてがい養殖	
	かき類養殖	
	その他の貝類養殖	
	くるまえび養殖	
	ほや類養殖	
	その他の水産動物類養殖	
こんぶ類養殖		
わかめ類養殖		
のり類養殖		
その他の海藻類養殖		
真珠養殖		
真珠母貝養殖		



内水面漁業経営体調査の養殖種類の変更案について

2018年漁業センサス養殖種類

食	にじます
	その他ます類
用種	あゆ
	こい
	ふな
	うなぎ
	すっぽん
	海水魚種（ひらめ等）
用種	その他
	ます類
苗	あゆ
	こい
用種	その他
	錦ごい
観賞用	錦ごい
	その他
真珠	

2023年漁業センサス養殖種類（案）

食	にじます
	その他ます類
用種	あゆ
	こい
	ふな
	うなぎ
	すっぽん
	海水魚種
海水魚種	にじます
	その他さけ・ます類
	その他（ひらめ等）
用種	その他
	ます類
苗	あゆ
	こい
用種	その他
	錦ごい
観賞用	錦ごい
	その他
真珠	

